



Title	語文 第96輯 編集後記/奥付
Author(s)	
Citation	語文. 2011, 96
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/69179
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

編集後記

二〇一一年三月一日に発生した太平洋沖地震は、私たちに大きな衝撃を与えました。津波が町や人々をのみ込んでいく映像の前に、私たちは語るべきことを失いました。国語学の大学院の卒業生の中のお一人は、実家が陸前高田市にあつて、ご家族は無事であつたものの、学生時代の研究書その他の一切を家と共に失われました。被災地では未だに大勢の方が苦しい生活を強いられ、福島原発事故は収束の兆しも見えません。そんな中で、これまでと同様に『語文』九六輯をお届けできることのありがたさをかみしめつつ、日本全土で、思うさまことばの花を愛でる日々の再び降り来ることを願わずにはいられません。末筆となりましたが、震災でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りするとともに、一日も早い被災地の復興を心よりお祈り申し上げます。

(金水)

語文 第九十六輯

平成二十三年六月二十五日 印刷
平成二十三年六月三十日 発行

編集・
発行者

大阪大学国語国文学会

〒560-8532 大阪府豊中市待兼山町一―五

大阪大学大学院文学研究科

日本文学・国語学研究室

代表 出原隆俊

振替口座〇〇九四〇―四―二四六四一

電話 〇六―六八五〇―五一一一

印刷
垂細垂印刷株式会社